

## 専門演習Ⅰ（3年次）中村 秀郷（ナカムラ ヒデサト）ゼミ

<p><b>担当科目</b></p>	<p>司法福祉論、精神保健福祉論ⅠⅡⅢ、 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ、精神科リハビリテーション学Ⅱほか</p>
<p><b>専門演習テーマ</b></p>	<p>司法福祉、精神保健福祉</p> <p>&lt;キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刑事司法と福祉、保護観察、医療観察、精神障害、依存症、リハビリテーション</li> <li>・ 犯罪・非行、触法精神障害者、累犯障害者、高齢犯罪者、犯罪被害者</li> <li>・ ソーシャルワーク、ストレングス、エンパワメント、ナラティブ</li> </ul>
<p><b>専門演習内容</b></p>	<p>&lt;専門演習Ⅰ・Ⅱについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年後期（専門演習Ⅰ）は、自身の関心を明確化し、卒業論文の構想発表及び研究計画書作成を目標とします。</li> <li>・ 4年次（専門演習Ⅱ）は、研究・論文指導を中心に行い、10月末卒論完成を目指します。また、ゼミ生による国家試験等に向けた継続的なピア学習を検討します。</li> </ul> <p>&lt;ゼミ内容について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ生が関心のあるテーマに沿って、文献を読み、グループディスカッション、課題のプレゼンテーションを通してテーマの理解を深めます。</li> <li>・ チーム作業として、グループで文献収集やフィールド調査（ソーシャルワーカー等へのヒアリングなど）を行い、報告発表によりゼミ全体で共有をします。</li> <li>・ 卒論に向けた学習（ピアレビューや添削指導、文献レビューや調査分析方法の学習など）を行います。</li> <li>・ 他にも刑事裁判の傍聴、福祉施設や医療機関及び少年院や刑務所等の見学、ボランティア及び当事者の集まりへの参加など、ゼミ生の提案・企画を随時検討します。</li> </ul>
<p><b>卒業論文</b></p>	<p>卒業論文またはゼミ論文の作成を必須とします。 * 卒論・ゼミ論では、ゼミ生各自がフィールド調査に取り組むことを原則とします。</p>
<p><b>ゼミの選考方法</b></p>	<p>「専門演習一次申込書」に「志望理由書」を添付して提出してください。</p> <p>志望理由書は、A4用紙1枚程度に、①ゼミ志望理由、②関心のある研究テーマとその内容、③希望進路、④ゼミでやりたいこと、⑤ゼミで発揮できる個性・能力、などをアピールしてください。また、申込段階で卒論のイメージができている方は、⑥卒論概要（テーマ、研究の目的・方法、今後の調査計画、期待される成果など）を追記してください（*⑥は任意です。⑥の内容・形式・字数は自由とします。）。</p>
<p><b>学生への要望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記専門演習テーマ&lt;キーワード&gt;にピンと来た方、関心のある方を募ります。</li> <li>・ ゼミ運営はメンバーで役割分担して行います。みんなでゼミを作り上げるためにも積極的な発言（ディスカッション）・企画行動（フィールドワーク）を求めます。</li> </ul>
<p><b>その他</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ内容や進め方はメンバーで話し合っ決めてみましょう。</li> <li>・ 国家試験・採用試験合格など各自の目標をみんなで協力して目指しましょう。</li> <li>・ ゼミを通して、仲間と共に考え、協力し、成長していくことを期待します。</li> </ul>